令和８年７月せとまちトーク

（市民と議会の意見交換会）

総務生活委員会

①テーマ

No.１　人口増やして税収アップ！

～集まれ！瀬戸ファン！瀬戸の「推し」＆おすすめを教えてください～

②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

・企業誘致　・企業というか法人税アップを考える必要あり。

・子育て　・給食費の無償化を進めて子育てしやすい市をＰＲすることで、若い人が増える。

・教育　・他市・他県にない新しい学問。外国人・日本語教育

・福祉　・どこの地域も高齢化が進み、やはり福祉に厚い事が住みやすい市になるのでは。

・その他　・瀬戸の資源・資産は何か「推し」→

藤井先生　卸売市場　陶磁美術館　市美術館

長久手市に近い

・人口と税収のバランスがとれればいいのでは。人口増えれば他の問題がでてくる。

・人口増えても、税を払う人、税額が少なければ人口増えても意味ないのでは。

・人口増やしたら税収アップするんですか？するとしたらその根拠は？

・今、瀬戸市は産廃が多い

③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
・ファインセラミック技術を生かす。 ・半導体関連企業を育てる。 ・税収ＵＰするために瀬戸に本社をもつ企業を育てる。 ・税収ＵＰして市を豊かにして転入者を増やす。 ・瀬戸市独自の税を決め税率に変化をつける。 ・法人税アップをめざす。 ・瀬戸市としての適性人口・適正税収（必要額）を算出する。 ・陶生病院南北瀬戸線の高架化　悲願 ・５・１０・１５・２０年先の瀬戸市としての夢を示す。 ・夢のないところ、希望のないところに人は来ない。 ・文化、歴史文化、せとものも含め、産業以外に何でも応用できるやきもの技術。 ・生涯学習と学校教育の融合。 ・自然増は望めません。社会増、転入増、本市のリソースポテンシャルとインセンティブは公示価格が安いのが最大の魅力。 ・インターチェンジの活用。赤津と品野の役割を明確化。 ・市有地をデベロッパーに売却。住宅地を増進。 ・窯神跡地二軍招致（失敗）の後、エネルギー、防災拠点など新たな考え方に。 ・道路環境　二つのインター、ポテンシャル、インセンティブの強化。例えば赤津ドライブイン。		

④まとめ

・企業誘致を更に進めるべきである。

・現在ある資源を活用しきれていないので活用を。

・瀬戸市をどんな街にしていきたいのか見えていない。ビジョンを明確に。

・土地活用をもっと上手に。

・インターチェンジの活用。

令和８年７月せとまちトーク（市民と議会の意見交換会）

総務生活委員会

①テーマ

No.１　人口増やして税収アップ！

～集まれ！瀬戸ファン！瀬戸の「推し」＆おすすめを教えてください～

②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

星がキレイに見える町として（上半田川町・岩屋堂・ひまわり台・東海自然道）
を有効活用する。
瀬戸電の乗車増＝瀬戸市の人口増となるため、新瀬戸駅周辺を再開発すべき。
例えば、新瀬戸駅送迎ステーションを作る。
菱野団地に自動運転システムを導入する。

③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
都市計画における、 容積率・用途地区等の 緩和 地価の安さ	アクセス不良 瀬戸電の高架化	企業の力 開発用地の不足 遊休地の活用 空き家対策

④まとめ

星がキレイな瀬戸市。
子育て環境が充実している瀬戸市。
最新鋭の自動運転システムを導入している瀬戸市。
↓
戻ってきたくなるまち、瀬戸市。